

令和 7 年 11 月 21 日

社会福祉法人 さざんか会

事業所名 野の花

代表者名 興梶孝

以下の通り報告いたします。

令和7年度 地域連携推進会議 議事録

事業所名	野の花		
開催日時	令和7年 11 月 20 日 11:30～12:30		
開催場所	野の花		
出席者	構成員	人数	備考
	事業所職員	3 名	野の花管理者1、生活支援員 1、笹川なずな工房施設長1
	入居者	2 名	S さん、S さん
	入居者ご家族	1 名	S さん母
	地域の関係者	1 名	東庄町手をつなぐ親の会 会長 1 名
	福祉に知見を有する方	1 名	大利根旭出福祉園 施設長 1 名
	経営に知見を有する方	1 名	笹川中央保育園 園長 1 名
	市町村担当職員	1 名	東庄町福祉課職員 1 名
議題	野の花の運営状況等報告 利用者さんより一人一言(SY さん、SK さん) 館内の見学 質疑応答		
協議内容・意見等	【会議参加者到着（11 時 30 分）記念撮影(下記添付)】 【館内へ～説明及び見学会】 ・前は 2 月に行い、今年度 11 月に開催する事ができた。 ・ 昨年度との大きな違いは定員が 1 名増えて 5 名から 6 名になった事 その前段で「体験入居」を実施して幅広くグループホームでの暮らしを体験してもらいご家族含めて野の花を知ってもらう機会とした。 ・1 名を選び、この 4 月から入居を始めている。 ・野の花の暮らしを資料見ながら委員の方に紹介。6 名の利用者だが、年齢層の幅も広く皆さん協力しながらの生活。66 歳の利用者 T さんが認知症となり、他利用者さんもその事を受け入れながらの生活となるが人間関係は良好。 ・個別支援計画(本人同席会議)について 個別支援計画を作成するうえで本人同席の会議を実施した事を説明。 (課題も見えた)・・・自分の事を説明できない方、こちらの説明の理解が難しい方への会議の進め方(良かった点)・・・現状の生の声を聞く事ができた(一人旅がしたい等) Y 委員より・・・委員の施設では本人を交えての会議は進んでいない 話が出来る利用者さんだけではないので、その方の想いをどのように受け止めていくのか難しさはある。職員もいろいろ工夫をしているが本人・家族の意見も交えてどうやって行くのか、どのように説明していくのか、どう支援していくのか、クリアにしてくにはハードルがあるよね・・・		

【館内見学】

見学中、笹川なずな工房施設長より

「館内掃除は大事な事と考えている。キレイにする、保つことで利用者さんに心を寄せている事につながると思う」とのご意見

【入居者より一言】

SYさん…出かけて暴れん坊将軍のお城を見た事。洗濯物のたたみ頑張っています。以前は北総で職員(パート)として勤めていた事

SKさん…野の花は楽しい。(照れてしまいあまり言葉にはできなかったが野の花が楽しいと話してくれた)

【質疑応答】

委員の皆様からは特になし

【管理者より】

- ・今年度東庄町の「歳末助け合いの助成金」を冷蔵庫購入に充てている。
 - ・Tさんの老化と向き合い、認知症・介護について皆で学ぶ機会としている。
- 食事形態の見直し 支援の仕方等

最後に

昨年も足を運んで頂きました。大きな変化はないし、利用者 6 名の小さい生活ではありますが、命を預かる身として、きちんと向き合って仕事をしていきたいと思いますので今後ともよろしくお願いします。



野の花の地域連携推進委員の皆様



野の花の中で会議をしました。

入居者ご本人も参加され和んだ雰囲気でした